

# 概況



本統計調査の概況は、最近数年の傾向と比べても大きな変化はない。  
詳細は次のとおりである。

## I 学校種別

---

### 1 小学校

#### (場合別)

「休憩時間」に最も多く発生し、全体のおよそ半数を占めている。

#### (場所別)

「運動場・校庭」が最も多く、ついで「体育館・屋内運動場」「教室」に多い。体育用具や遊具を使用中の災害も多く、施設面からみた安全管理も重要である。

#### (部位別)

「手・手指部」が最も多く、ついで「足関節部」「頭部」に多い。中学校・高等学校に比べ、頭部や顔部のけがが多く、頭部が重いという身体的特徴が影響していると推測される。

#### (体育活動中の運動種目別)

「バスケットボール」と「跳び箱」が他の種目より格段に多い。そのあとに「サッカー」「ドッジボール」が続いている。

#### (時間帯別)

「10-11時」「13-14時」に極端に多く発生している。「10-11時」は業間休み、「13-14時」は昼食時休憩時間（昼休み）であり、いずれも「休憩時間」での多発の裏付けデータとなっている。なお、中学校・高等学校では業間休みを設けているところはほとんどないため、小学校と同じ傾向にはなっていない。

### 2 中学校

#### (場合別)

「課外活動」に最も多く発生している。「課外活動」のほとんどは「体育的部活動」によるものである。

#### (場所別)

「体育館・屋内運動場」「運動場・校庭」が最も多い。身体的発達に伴い、体育も競技志向が強まる結果として多く発生するのではないかと推測される。次いで「教室」が多いが、小学校に比べ件数がかなり少なくなっている。

#### (部位別)

「手・手指部」が最も多く、ついで「足関節」「眼部」「足・足指部」が多い。そのなかでも「眼部」は、20年前（平成元年の給付データ）に比べ、けがの増加が著しい。

#### (体育活動中の運動種目別)

球技中のけがが多く、全体の約76%を占めている。その内訳は「バスケットボール」「サッカー・フットサル」「バレーボール」「野球（含軟式）」の順で多い。球技以外の種目を含めても順位は変わ

らず、一般的に部員数の多い部活でけがの発生件数が多い傾向がみられる。

#### (時間帯別)

「10-11時」「11-12時」に最も多く発生している。午前中に行われる教科体育によるものと思われる。次いで、「16-17時」「17-18時」の発生が多いが部活動中によるものと思われる。

### 3 高等学校・高等専門学校

#### (場合別)

「課外指導」に最も多く発生している。「課外指導」のうち「体育的部活動」がほとんどを占めており、全体でも半数以上の発生割合となっている。

#### (場所別)

「体育館・屋内運動場」と「運動場・校庭」において、全体の約70%を占めている。このことは、「課外活動」つまり部活動中での事故が多いことを裏付けた結果といえる。

#### (部位別)

「足関節」と「手・手指部」の発生数が多い。また、部位のうち大項目でみると「下肢部」の発生割合が最も多い。下肢部のけがについては、体幹部を鍛え体の中心（軸）を安定させることが有効とされている。詳しくはホームページ等で公表しているセンターの学校災害防止調査研究委員会第一部会の研究内容「体育的部活動のけが防止プログラム」が参考となる。

#### (体育活動中の運動種目別)

高等学校・高等専門学校でも、小学校・中学校と同じく「バスケットボール」にけがが最も多く発生している。ついで、「サッカー・フットサル」や「野球（含軟式）」での発生が多くなっている。

#### (時間帯別)

「10-11時」「11-12時」「17-18時」に多く発生している。

### 4 幼稚園・保育所

#### (場合・場所別)

幼稚園・保育所ともに「保育中」における「園舎内」と「園舎外」でほとんどを占めている。幼稚園では「運動場・園庭」で最も多く発生しており、保育所では「教室(保育室)」での発生が最も多い。

#### (体育用具・遊具別)

「すべり台」が最も多いのは幼稚園・保育所ともにみられる傾向である。「すべり台」は逆さのぼりなどの誤った使い方によるものも多いため、すべり台の安全な使用方法の研究と、子どもたちへの「安全教育」の開発も重要である。

#### (部位別)

幼稚園と保育所では順位が若干違うものの「頭部」、「眼部」、「歯部」が上位3項目を占めている。その他、「顔」に関する部位が多く続く。

#### (月別)

幼稚園と保育所では「10月」の発生割合が多くなっている。「10月」は、運動会などの体育的行事が多いため、そこでのけがによるものと思われる。

## Ⅱ 発生割合別

### 1 負傷・疾病における場合別発生割合

学校の管理下を、各教科・道徳(各教科等)、特別活動(除学校行事)、学校行事、課外指導、休憩時間、寄宿舎、技能連携、通学(園)中に分類し、各学校種ごとにそれぞれの割合を表したものが図1である。

幼稚園・保育所については、保育中、通園中、寄宿舎に分類している。

小学校においては「休憩時間」に発生するケースが半数以上を占めているが、教師の目に届きにくい時間帯であり、日頃からの注意喚起が必要である。中学校以上になると、年齢が高くなるにつれて「休憩時間」の怪我が減少し、「課外活動」、つまり部活動の占める割合が非常に高くなる。部活動時のけがの予防には活動環境を整える等、安全指導が大切である。センターの学校災害防止調査研究委員会 第一部会で作成している「体育的部活動のケガ防止プログラム」を参考としたい。

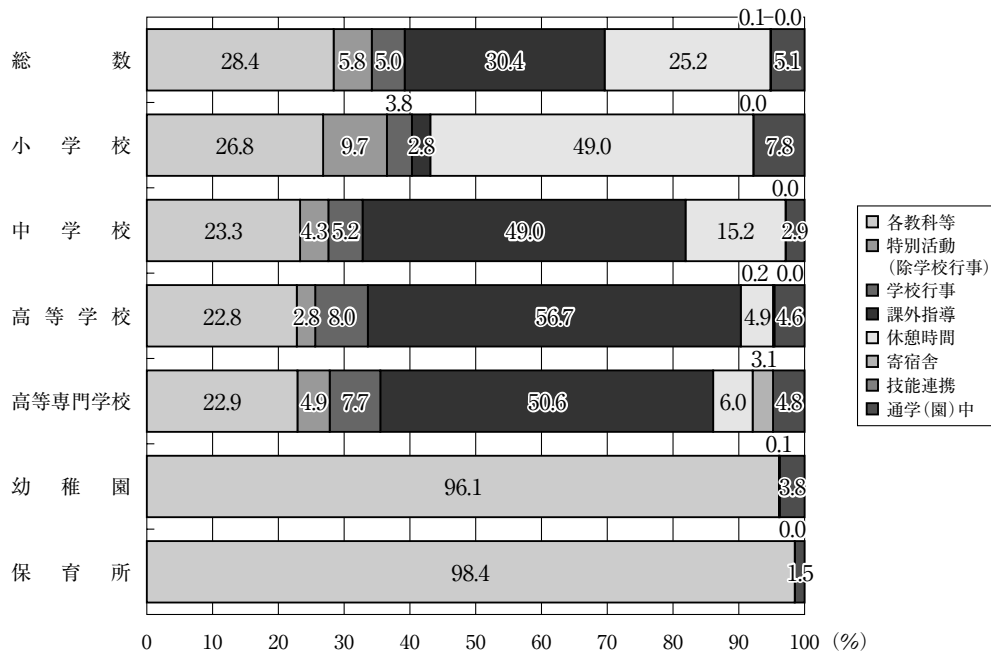


図1 負傷・疾病における場合別発生割合

表1

単位：%

	各教科等	特別活動 (除学校行事)	学校行事	課外指導	休憩時間	寄宿舎	技能連携	通学(園)中	合計
総数	28.4	5.8	5.0	30.4	25.2	0.1	0.0	5.1	100.0
小学校	26.8	9.7	3.8	2.8	49.0	0.0	-	7.8	100.0
中学校	23.3	4.3	5.2	49.0	15.2	0.0	-	2.9	100.0
高等学校	22.8	2.8	8.0	56.7	4.9	0.2	0.0	4.6	100.0
高等専門学校	22.9	4.9	7.7	50.6	6.0	3.1	-	4.8	100.0
幼稚園	96.1	-	-	-	-	0.1	-	3.8	100.0
保育所	98.4	-	-	-	-	0.0	-	1.5	100.0

単位：人

	各教科等	特別活動 (除学校行事)	学校行事	課外指導	休憩時間	寄宿舎	技能連携	通学(園)中	合計
総数	321,707	66,068	56,464	343,475	284,729	789	12	57,710	1,130,954
小学校	116,156	42,030	16,446	12,091	212,243	47	-	33,726	432,739
中学校	92,892	17,220	20,704	195,256	60,715	189	-	11,398	398,374
高等学校	54,167	6,685	19,107	134,760	11,608	442	12	11,045	237,826
高等専門学校	620	133	207	1,368	163	84	-	129	2,704
幼稚園	20,945	-	-	-	-	20	-	837	21,802
保育所	36,927	-	-	-	-	7	-	575	37,509

※1 帳票1-2参照

## 2 負傷・疾病における種別発生割合

年齢が上がるにつれて比較的軽度な「挫傷・打撲」からの症状の重い「捻挫」「骨折」への発生割合が移行しているが、これは、より激しい運動や子どもたちの活動・行動範囲が広がるためと思われる。各学校種ごとに、どんな負傷・疾病が多いかを示したものが図2である。

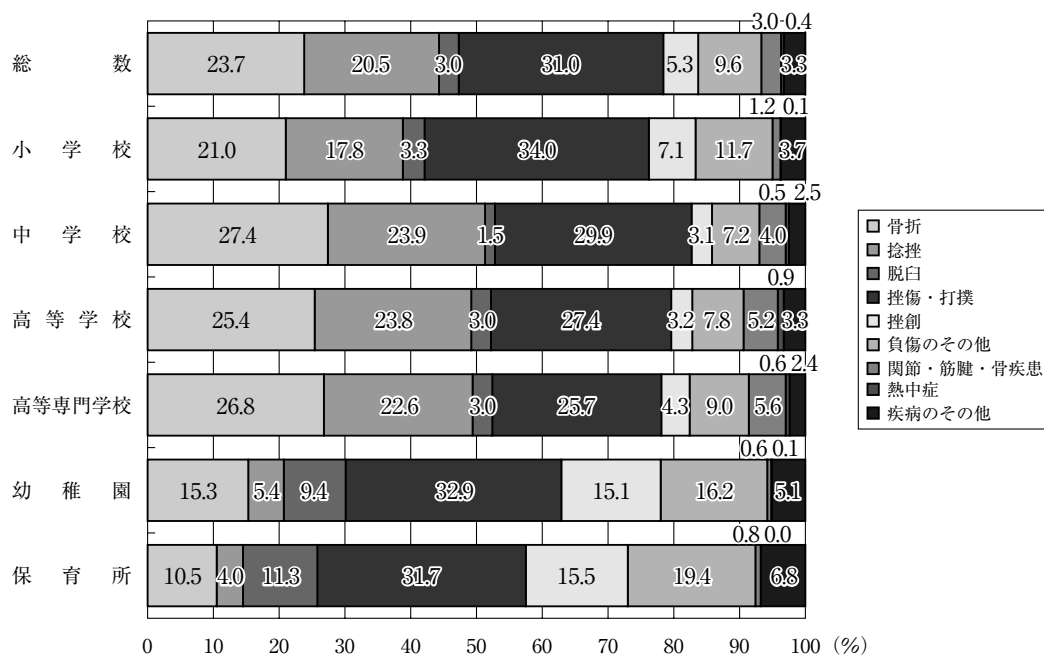


図2 負傷・疾病における種別発生割合

表2

単位：%

	骨折	捻挫	脱臼	挫傷・打撲	挫創	負傷のその他	関節・筋腱・骨疾患	熱中症	疾病のその他	合計
総数	23.7	20.5	3.0	31.0	5.3	9.6	3.0	0.4	3.3	100.0
小学校	21.0	17.8	3.3	34.0	7.1	11.7	1.2	0.1	3.7	100.0
中学校	27.4	23.9	1.5	29.9	3.1	7.2	4.0	0.5	2.5	100.0
高等学校	25.4	23.8	3.0	27.4	3.2	7.8	5.2	0.9	3.3	100.0
高等専門学校	26.8	22.6	3.0	25.7	4.3	9.0	5.6	0.6	2.4	100.0
幼稚園	15.3	5.4	9.4	32.9	15.1	16.2	0.6	0.1	5.1	100.0
保育所	10.5	4.0	11.3	31.7	15.5	19.4	0.8	0.0	6.8	100.0

単位：人

	骨折	捻挫	脱臼	挫傷・打撲	挫創	負傷のその他	関節・筋腱・骨疾患	熱中症	疾病のその他	合計
総数	268,471	232,063	33,882	351,138	60,013	108,965	34,221	4,606	37,595	1,130,954
小学校	91,059	77,145	14,264	147,029	30,844	50,746	5,187	411	16,054	432,739
中学校	108,979	95,102	6,159	119,162	12,308	28,559	16,026	2,033	10,046	398,374
高等学校	60,427	56,554	7,107	65,191	7,619	18,599	12,448	2,120	7,761	237,826
高等専門学校	726	611	80	695	117	243	151	16	65	2,704
幼稚園	3,329	1,167	2,052	7,173	3,298	3,531	126	11	1,115	21,802
保育所	3,951	1,484	4,220	11,888	5,827	7,287	283	15	2,554	37,509

※1 帳票 3-1(2)、3-2(2)、3-3(2)、3-4(2)、3-5(2)、3-6(2)参照

### 3 負傷・疾病における部位別発生割合

保育所・幼稚園・小学校では「頭部」「顔部」の発生割合が高くなっているが、これは転倒した時に手をつくという、とっさの動作が上手くとれないためと思われる。中学校・高等学校となるにつれて、「上肢部」「下肢部」の発生割合が増加するのも特徴である。

各学校種ごとに、各部位における負傷・疾病の発生割合を示したものが図3である。

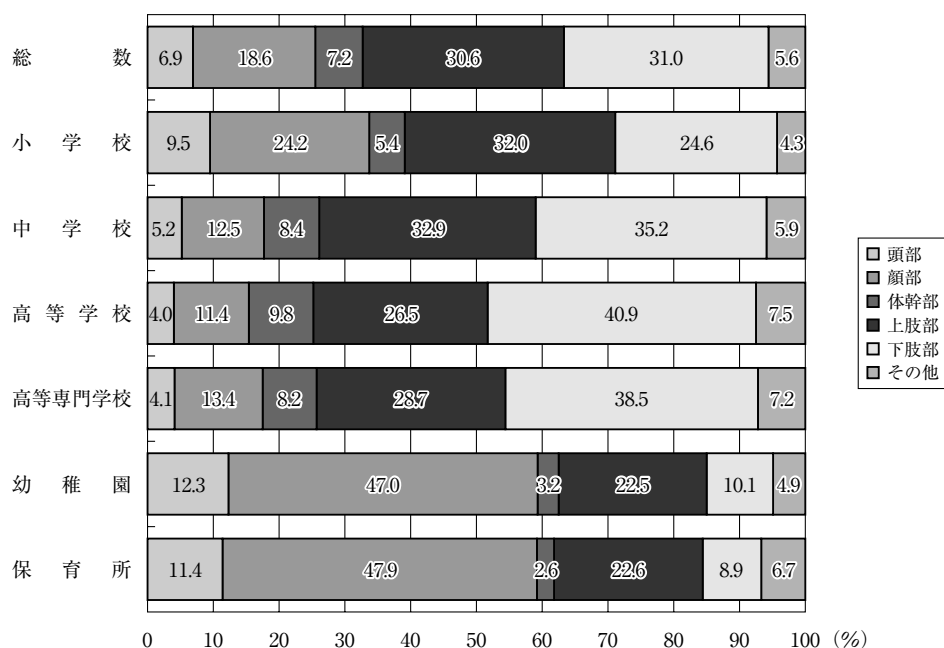


図3 負傷・疾病における部位別件数表

表3

単位：%

	頭部	顔部	体幹部	上肢部	下肢部	その他	合計
総数	6.9	18.6	7.2	30.6	31.0	5.6	100.0
小学校	9.5	24.2	5.4	32.0	24.6	4.3	100.0
中学校	5.2	12.5	8.4	32.9	35.2	5.9	100.0
高等学校	4.0	11.4	9.8	26.5	40.9	7.5	100.0
高等専門学校	4.1	13.4	8.2	28.7	38.5	7.2	100.0
幼稚園	12.3	47.0	3.2	22.5	10.1	4.9	100.0
保育所	11.4	47.9	2.6	22.6	8.9	6.7	100.0

単位：人

	頭部	顔部	体幹部	上肢部	下肢部	その他	合計
総数	80,090	212,870	81,546	344,181	348,801	63,466	1,130,954
小学校	41,637	106,307	23,294	137,145	105,933	18,423	432,739
中学校	21,280	50,281	33,253	130,408	139,557	23,595	398,374
高等学校	10,064	27,551	23,134	62,578	96,796	17,703	237,826
高等専門学校	120	372	220	770	1,030	192	2,704
幼稚園	2,692	10,241	700	4,906	2,200	1,063	21,802
保育所	4,297	18,118	945	8,374	3,285	2,490	37,509

※1 帳票3-1(1)、3-2(1)、3-3(1)、3-4(1)、3-5(1)、3-6(1)参照

## 4 負傷と疾病の割合

センターの災害共済給付制度は、学校の管理下の事故災害（負傷、疾病、死亡及び障害）について給付の対象としているが疾病の範囲について、支給対象の疾病が限定されているため、どの学校種においても、疾病の割合が極めて低くなっている。

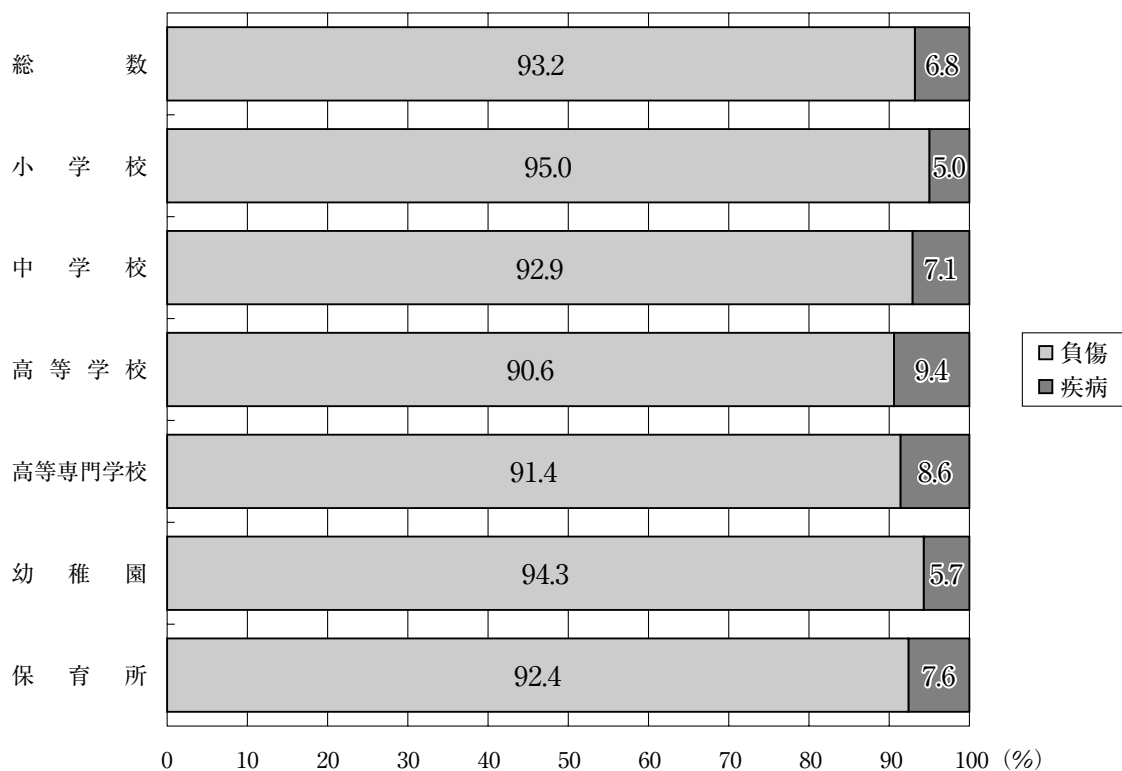


図4 負傷と疾病の割合

表4

単位：%

	負傷	疾病	合計
総数	93.2	6.8	100.0
小学校	95.0	5.0	100.0
中学校	92.9	7.1	100.0
高等学校	90.6	9.4	100.0
高等専門学校	91.4	8.6	100.0
幼稚園	94.3	5.7	100.0
保育所	92.4	7.6	100.0

単位：人

	負傷	疾病	合計
総数	1,054,530	76,424	1,130,954
小学校	411,087	21,652	432,739
中学校	370,268	28,106	398,374
高等学校	215,496	22,330	237,826
高等専門学校	2,472	232	2,704
幼稚園	20,550	1,252	21,802
保育所	34,657	2,852	37,509

※1 帳票1-1参照



## 5 負傷における男女の割合

各学校種ごとの負傷における男女の割合については図5のとおりである。

全ての学校種において、男の方が多くの割合を占めている。

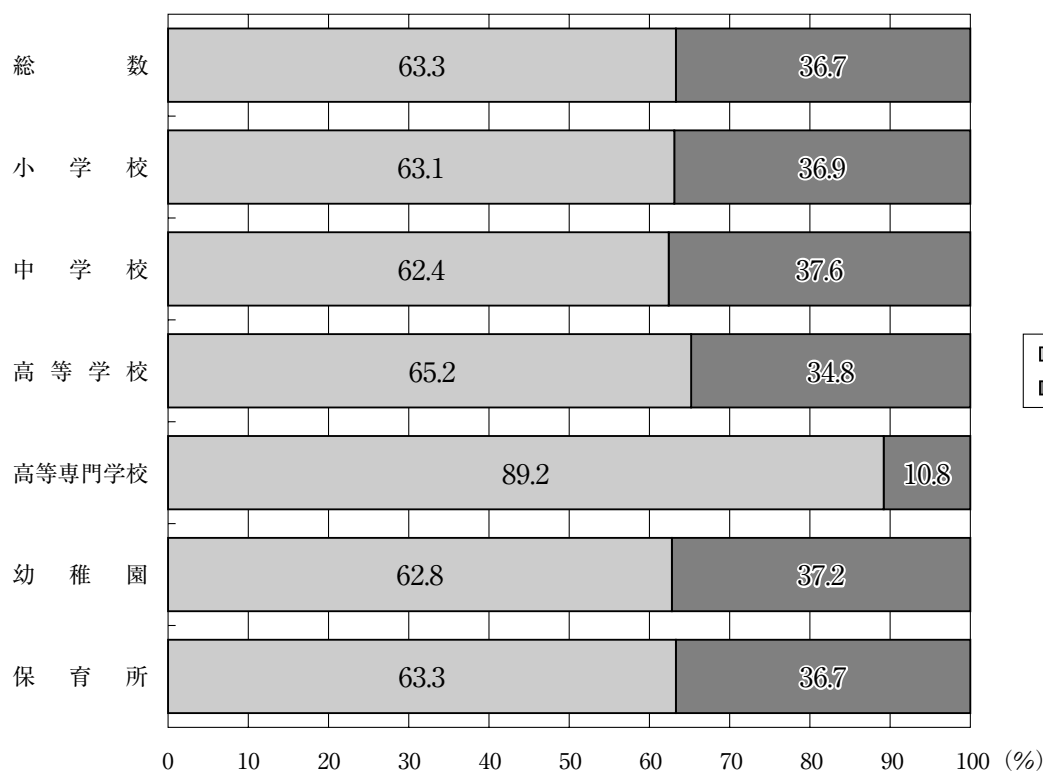


図5 負傷における男女の割合

表5

単位：%

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	63.3	63.1	62.4	65.2	89.2	62.8	63.3
女	36.7	36.9	37.6	34.8	10.8	37.2	36.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

単位：人

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	667,895	259,237	231,187	140,419	2,205	12,900	21,947
女	386,635	151,850	139,081	75,077	267	7,650	12,710
合計	1,054,530	411,087	370,268	215,496	2,472	20,550	34,657

※1 帳票1-1参照

## 6 疾病における男女の割合

各学校種ごとの疾病における男女の割合については図の6のとおりである。

全ての学校種において男の方が多くの割合を占めている。

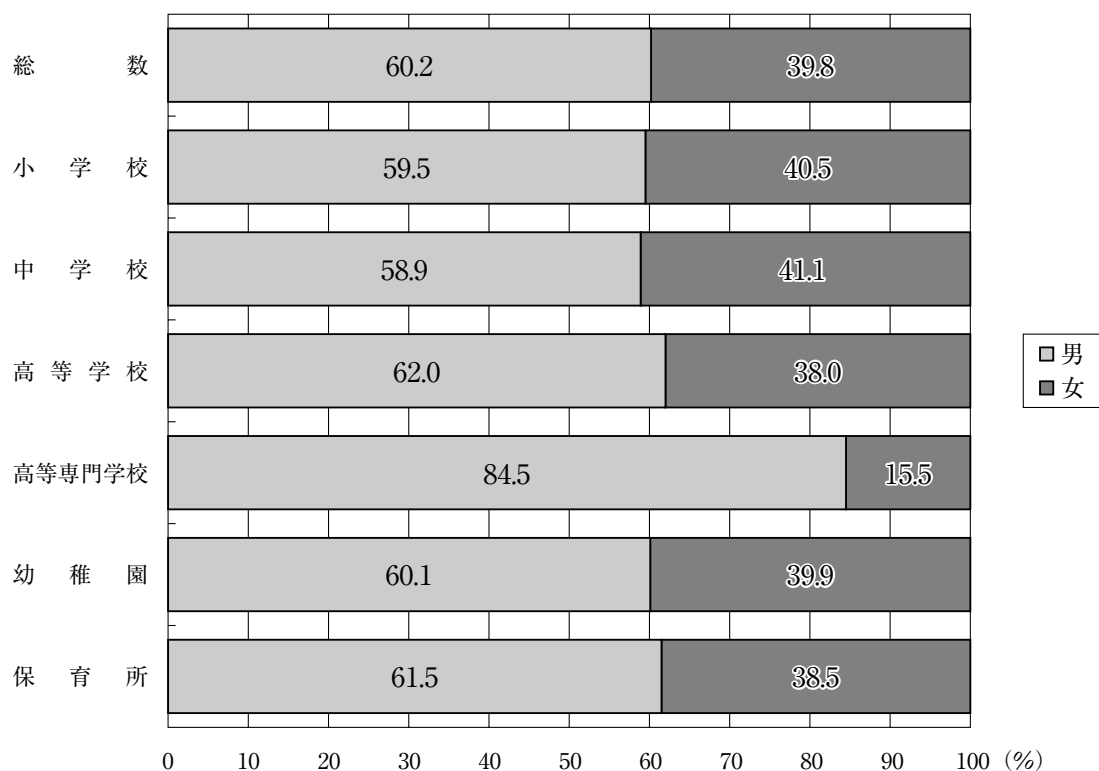


図6 疾病における男女の割合

表6

単位：%

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	60.2	59.5	58.9	62.0	84.5	60.1	61.5
女	39.8	40.5	41.1	38.0	15.5	39.9	38.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

単位：人

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	45,991	12,893	16,554	13,843	196	752	1,753
女	30,433	8,759	11,552	8,487	36	500	1,099
合計	76,424	21,652	28,106	22,330	232	1,252	2,852

※1 帳票1-1参照